

留学体験記

スペイン・サラマンカ大学で過ごした 6 か月

JSAF FLAP 留学レポートより

「自分が現地のスペイン人とスペイン語で会話をしているという事実を改めて考えてみると、とても嬉しくなるし、さらに勉強を頑張ろうという気持ちになります」

留学先	サラマンカ大学(La Universidad de Salamanca／スペイン・サラマンカ)語学コース
在籍大学	東京外国語大学 言語文化学部 スペイン語専攻 3 年
留学期間	2024 年 10 月～2025 年 3 月(6 ヶ月)

※本体験記は派遣生の FLAP 留学レポートをもとに再構成したものです(保存用・氏名入り。公開時には氏名を削除してください)。

1. 留学の目的

今回の留学の目的は、スペイン語能力の向上と、現地の文化に触れることでスペイン人の生活の様子を理解することでした。留学期間の半分を終えた時点で、この目的は少しずつ達成されていると感じています。

2. 語学学校と授業

■ 学校とクラスの概要

項目	内容
受講コース	言語・文化コース
クラスレベル	開始時:Grupo 2.6 Avanzado → 最終:Grupo 2.2 Avanzado
学校の学生数	約 200 名(うち日本人は約 20 名・10%)
クラスの平均人数	約 12 名(うち日本人は約 3 名)
クラスメイトの国籍	韓国、台湾、中国、ロシア、アルゼンチンなど世界各国

教室はとても清潔感があります。学習意欲のある学生が多く、学生同士ではスペイン語か英語で話していることが多いです。授業で教科書を使うことはなく、すべて各先生が用意してくださるプリントを使います。先生自作のプリントもあれば、テキストのコピーの場合もあります。

先生はとても親身になって、学生一人ひとりをしっかり見てくれている印象を受けます。授業ではスペインで使われる日常表現や文化についても教えてくれるので、勉強に飽きずに取り組むことができます。学校スタッフも、必要な手続きを素早くこなしてくれます。

■ ■授業の内容

面白かった授業(Written skills practice) 毎日、異なるテーマについての作文を行っていました。毎授業開始時の先生との雑談も盛り上がっていました。

頑張った授業(Spanish language) 一度学習したことのある内容とはいえ、一回の授業で扱う文法事項が多く、復習が必須でした。ただ、忘れかけていた内容の復習や、今まで知らなかった表現を学ぶことができたので、とても満足しています。

苦勞した授業(Spanish culture) 地理や歴史を取り扱うことも多く、授業中に使われる単語のレベルが高かったため、先生の話の中で理解できない部分もありました。

■ ■日本の授業と違うと感じた点

一番の違いは、学生と先生の相互コミュニケーションが取れていることだと思いました。わからないところを質問するだけでなく、自分の意見を述べ始める生徒が多く、驚きました。先生も遮ることなく質問に答えたり、生徒の意見を踏まえて授業を進めてくれたりするので、内容がより充実したものになりました。

3. スペイン語力の伸びと工夫

スキル	苦勞した点	工夫した点
リスニング	単語が分からず、先生の説明が分からないときがあった。	先生のジェスチャーなどから意味をくみ取り、辞書を用いながら授業に臨んだ。
スピーキング	ただ単に怖気づいて話せなかった。	周りも同じ留学生だと開き直って、間違いも気にしないようにした。
リーディング	わからない単語が出てくることがあった。	わからない単語をまとめるノートを作って、帰宅後に復習をした。
ライティング	構成や言い回しがよくわからなかった。	何度も添削してもらい、形式を覚えた。

■ ■役立った勉強方法

- 授業中に調べた単語をまとめるミニノートを作った。
- 授業中に扱った文を帰宅後に自分でもう一度書いてみた。

■ ■語学力の伸びを実感したこと

ホストマザーの話を聴いたり、毎日スペイン語の授業を受けたりすることで、リスニング力は格段に伸びたと思います。そして日常生活でスペイン語を話す必要があるので、スピーキング力もついたと思います。

4. 滞在先と生活

■ ■滞在先と食事

滞在先はホームステイ(1人部屋)で、学校までは徒歩10分でした。ホストマザーは綺麗好きでとても面倒見の良い方です。水が少ない地域なので、シャワーの使い方に関するルールがあり、頭を洗うのは三日に一回にするように言われました。変換プラグはホストマザーが貸してくれ、シャンプー類は自分で調達しました。

食事は毎日三食、ホストマザーの作る食事をとっていました。マメやズッキーニのスープにチキンなど、健康的で美味しい食事をとることができています。

■ ■1 週間の過ごし方

平日は 9:00～14:15 まで学校で授業を受け、その後は自由時間です。木曜日は 22:00 ごろから日本人学生とスペイン人学生の交流会に参加していました。土日は自由に過ごしていました。

■ ■街と治安

サラマンカ自体が学生の町ということもあり治安が良く、放課後に学生が集まって課題を行うカフェが多くあります。学校も建物自体が小さいため、管理の目が行き届かない怪しい場所などではなく、キャンパスの内も外も治安は極めて良いと思います。プラサ・マジョールという大きな広場があり、飲食店が並んでいます。たまにご褒美に美味しいジェラートを食べることができます。

■ ■交友関係

毎週開催される、日本人学生と日本文化に興味のあるスペイン人学生の交流会に参加しています。ほかの留学生とは、主に同じクラスになった人と放課後にカフェに行ったり、一緒に勉強したりします。一度でも話したことがある人とは、会ったときになるべく挨拶するようにし、相手のことをよく質問すると、話題にも困らずに仲を深めることができました。

授業開始時は緊張してあまり周囲の人に話しかけられなかったため、友達の輪を広げるのに少し時間がかかりました。一方で、自分が現地のスペイン人とスペイン語で会話をしているという事実を改めて考えると、とても嬉しくなり、さらに勉強を頑張ろうという気持ちになります。

一番の息抜きは、他国で留学中の友達と電話をすることです。楽しいことや不安なことなどを共有して、お互いに気持ちをリセットしています。日本の家族とは有名な観光地に行った際に写真を送り、友達ともたまに連絡を取っています。

5. 課外活動

学校主催のサラマンカの町ツアーに参加しました。本来はいくつかの観光スポットを回る予定でしたが、途中で雨が降り出したため、教室に戻り画像を使いながらの説明を受けました。サラマンカの古い歴史を学ぶことができ、参加して良かったと思いました。

6. 費用と持ち物

項目	内容
生活費(月のお小遣い)	自分の貯金に加え、毎月 1.5 万円ほどの仕送りで生活
持ってくれば良かった物	ボディークリーム、手袋、マフラー、靴数足、熟語集
持ってこなくても良かった物	ノート、日本食
持って行って便利だった物	エコバッグ、ポーチ、水筒

渡航前の準備としては、サラマンカの町のどこに何があるかなどを少し調べておくべきだったと感じています。

7. 留学の折り返しを迎えて

留学を通して、スペイン語を話すことへの抵抗やためらいが少し減りました。留学先の国や大学については、想像していたよりもきっちりとしており、より過ごしやすかったです。これからの目標は、スペイン語試験に合格し、より流ちょうに話せるようになることです。

まだ留学期間が半分残っているため、残りの半分はよりスペイン語の勉強に力を入れたいと考えているとともに、自分の将来についてもしっかりと考え始めたいと思っています。

8. 後輩へのメッセージ

「先生はとても丁寧に教えてくれます。学校で友達をつくっておくと、放課後の QOL が上がります。」

「スペイン語を基礎から固めたい人におすすめです。また、世界中の人と知り合うことができます。」

本体験記は、JSAF 派遣生による FLAP 留学レポートをもとに再構成したものです。